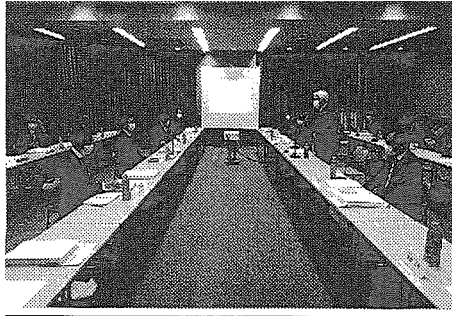


福岡
と意見
交換
と
協見
コン
ン意
建
岡市

合同踏査を積極活用

拡大へ業種洗い出す

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は8日、福岡市との意見交換会を



同市内で開いた。写真。市に
対する個別要望は▽幅広い分
野の表彰制度の運用▽全委託
業務の電子入札導入▽合同現
地踏査の積極活用▽ウェブ会
議の活用拡大――の4項目。
同支部から田中支部長ら幹
部、市からは黒田寛財政局技
術監理部長らが出席した。
表彰制度について同支部
は、表彰対象が下水道設計の
みとなっているとし、一般土
木設計を含めた幅広い業種を
対象にするよう求めた。これ
に対して市は、22年度に国に

準じた委託業務成績評定要領
を改定しており、表彰制度の
反映には点数の分布や評価の
バラツキなど状況分析が必要
とした。

電子入札導入は、区役所発
注も対象とするよう要望し
た。市は、区役所の数件の発
注件数でセキュリティを完
備したパソコンの配備に、費
用対効果の観点で見極めが必
要と回答した。

市は、合同現地踏査を詳細
設計のうち重要構造物と「有
効な業務」を対象に、特記仕
様書に明示し、運用している。
さらなる積極的な活用を求め
る同支部に対して、市は「必
要があれば申し出てほしい」
と協調する姿勢を見せた。今

後、同支部は好事例などから
拡大に向けて業種を洗い出す
方針だ。

ウェブ会議の活用拡大につ
いて市は、タブレットやパソ
コンなどの機器環境が整備さ
れたので対応できるとした。

九州沖縄8県3政令市との
意見交換会の共通項目要望で
は、適正な設計変更について、
支部会員アンケートで市の対
応がほかの県・政令市と比べ
悪い数字だったと報告。市は
結果を重く受け止め、対応を
強化するとした。プロポーザ
ル・総合評価落札方式を活用
した技術力の選定に対する要
望に対しては、市は「地元企
業と協議しながら検討する」
と回答した。